

2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

コード番号 8729 URL <https://www.sonyfh.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 茂

問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 長谷川 康生 TEL 03-5290-6500 (代表)

四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	420,658	15.3	28,825	51.7	20,077	59.8
2018年3月期第1四半期	364,984	11.7	18,995	△25.5	12,566	△28.9

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 15,750百万円 (12.8%) 2018年3月期第1四半期 13,968百万円 (△54.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	46.15	46.15
2018年3月期第1四半期	28.89	28.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	12,772,026	615,075	4.8
2018年3月期	12,401,446	625,406	5.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 613,271百万円 2018年3月期 623,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	0.00	-	60.00	60.00
2019年3月期	-	-	-	-	-
2019年3月期 (予想)	-	0.00	-	62.50	62.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,578,000	4.9	83,000	24.2	55,000	6.0	126.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年3月期1Q	435,035,213株	2018年3月期	435,027,513株
2019年3月期1Q	35,775株	2018年3月期	35,775株
2019年3月期1Q	434,994,276株	2018年3月期1Q	434,952,695株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績見通し等の将来に関する記述のご利用に当たっての注意事項等については、9ページの「注意事項」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	4
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
2. 補足情報	
2018年度第1四半期 連結業績およびソニー生命の2018年6月末MCEV	10

※ 当社は、2018年度第1四半期 連結業績についての機関投資家・アナリスト向けのカンファレンスコールを以下のとおり開催する予定です。当カンファレンスコールの様態については、開催後に質疑応答の要旨を当社ホームページ（下記URL ご参照）に掲載するとともに、音声配信も行う予定です。

「2018年度第1四半期 連結決算説明会」
 (2018年度第1四半期 連結業績およびソニー生命の2018年6月末MCEV)

開催予定日時 : 2018年8月9日(木) 15:30～

当社ホームページURL : <https://www.sonyfh.co.jp/>

※ ソニー生命保険株式会社（以下「ソニー生命」）、ソニー損害保険株式会社（以下「ソニー損保」）、ソニー銀行株式会社（以下「ソニー銀行」）は、本日それぞれ2018年度第1四半期業績を発表しておりますので、各社ホームページも併せてご参照ください（当社ホームページからもご参照いただけます）。

ソニー生命ホームページURL : <http://www.sonylife.co.jp/>

ソニー損保ホームページURL : <https://www.sonysonpo.co.jp/>

ソニー銀行ホームページURL : <https://sonybank.net/>

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	327,633	395,115
コールローン及び買入手形	65,500	70,800
買入金銭債権	5,378	4,370
金銭の信託	291,582	289,477
有価証券	9,581,206	9,848,404
貸出金	1,785,877	1,811,096
有形固定資産	106,051	105,219
無形固定資産	35,684	35,570
再保険貸	934	808
外国為替	9,346	10,596
その他資産	168,736	176,270
退職給付に係る資産	3,426	3,484
繰延税金資産	21,242	22,034
貸倒引当金	△1,152	△1,222
資産の部合計	12,401,446	12,772,026
負債の部		
保険契約準備金	8,763,349	8,969,061
支払備金	74,712	75,729
責任準備金	8,683,153	8,887,958
契約者配当準備金	5,484	5,373
代理店借	1,873	1,447
再保険借	5,563	4,931
預金	2,159,246	2,206,087
コールマネー及び売渡手形	96,000	173,411
借入金	173,944	174,013
外国為替	228	131
社債	20,000	20,000
その他負債	470,501	523,659
賞与引当金	3,906	1,923
退職給付に係る負債	33,179	33,530
特別法上の準備金	48,135	48,642
価格変動準備金	48,135	48,642
繰延税金負債	0	0
再評価に係る繰延税金負債	109	109
負債の部合計	11,776,039	12,156,950

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,927	19,934
資本剰余金	191,157	191,164
利益剰余金	283,911	277,889
自己株式	△55	△55
株主資本合計	494,941	488,932
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,991	129,475
繰延ヘッジ損益	△902	△902
土地再評価差額金	△2,439	△2,439
退職給付に係る調整累計額	△1,929	△1,795
その他の包括利益累計額合計	128,719	124,338
新株予約権	97	101
非支配株主持分	1,648	1,702
純資産の部合計	625,406	615,075
負債及び純資産の部合計	12,401,446	12,772,026

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
経常収益	364,984	420,658
生命保険事業	327,165	378,636
保険料等収入	240,705	268,909
(うち保険料)	240,138	268,418
資産運用収益	82,979	106,995
(うち利息及び配当金等収入)	38,694	40,423
(うち金銭の信託運用益)	1,127	1,127
(うち売買目的有価証券運用益)	12	—
(うち有価証券売却益)	0	3,265
(うち為替差益)	49	12,287
(うち特別勘定資産運用益)	43,092	49,892
その他経常収益	3,479	2,731
損害保険事業	28,043	29,701
保険引受収益	27,571	29,067
(うち正味収入保険料)	27,556	29,051
(うち積立保険料等運用益)	15	16
資産運用収益	453	622
(うち利息及び配当金収入)	334	340
(うち有価証券売却益)	134	297
(うち積立保険料等運用益振替)	△15	△16
その他経常収益	18	12
銀行事業	9,671	10,711
資金運用収益	6,871	7,495
(うち貸出金利息)	4,193	4,308
(うち有価証券利息配当金)	2,658	3,169
役務取引等収益	1,493	1,965
その他業務収益	1,212	1,052
その他経常収益	94	198
その他	105	1,607
その他経常収益	105	1,607
経常費用	345,989	391,832
生命保険事業	312,671	356,460
保険金等支払金	96,772	100,823
(うち保険金)	23,486	22,755
(うち年金)	2,970	3,168
(うち給付金)	21,717	21,952
(うち解約返戻金)	45,733	49,629
(うちその他返戻金)	872	1,017
責任準備金等繰入額	165,599	202,035
支払準備金繰入額	—	1,001
責任準備金繰入額	165,599	201,033
契約者配当金積立利息繰入額	0	0
資産運用費用	8,839	9,307
(うち支払利息)	15	247
(うち売買目的有価証券運用損)	—	40
(うち有価証券売却損)	—	34
(うち金融派生商品費用)	7,015	7,855
事業費	33,134	35,425
その他経常費用	8,326	8,868

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
損害保険事業	25,478	25,703
保険引受費用	18,885	19,187
(うち正味支払保険金)	12,180	13,076
(うち損害調査費)	1,824	1,963
(うち諸手数料及び集金費)	377	360
(うち支払備金繰入額)	366	15
(うち責任準備金繰入額)	4,137	3,771
営業費及び一般管理費	6,592	6,515
その他経常費用	0	0
銀行事業	7,462	7,875
資金調達費用	1,946	1,897
(うち預金利息)	1,266	1,511
役務取引等費用	1,050	1,332
その他業務費用	15	1
営業経費	4,412	4,498
その他経常費用	37	146
その他	376	1,793
その他経常費用	376	1,793
経常利益	18,995	28,825
特別利益	—	0
固定資産等処分益	—	0
特別損失	452	550
固定資産等処分損	0	35
減損損失	0	7
特別法上の準備金繰入額	452	506
価格変動準備金繰入額	452	506
契約者配当準備金繰入額	222	23
税金等調整前四半期純利益	18,320	28,252
法人税及び住民税等	5,169	7,199
法人税等調整額	540	921
法人税等合計	5,710	8,121
四半期純利益	12,610	20,131
非支配株主に帰属する四半期純利益	44	54
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,566	20,077

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	12,610	20,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,128	△4,515
繰延ヘッジ損益	66	0
退職給付に係る調整額	163	134
その他の包括利益合計	1,357	△4,380
四半期包括利益	13,968	15,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,923	15,695
非支配株主に係る四半期包括利益	44	54

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計
	生命保険 事業	損害保険 事業	銀行事業	計		
経常収益(注2)						
(1) 外部顧客への経常収益	327,165	28,043	9,671	364,879	105	364,984
(2) セグメント間の内部経常 収益	829	0	54	884	—	884
計	327,994	28,043	9,725	365,764	105	365,869
セグメント利益	15,144	2,375	1,703	19,223	△272	18,951

(注1) 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれていない介護事業が含まれております。

(注2) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計
	生命保険 事業	損害保険 事業	銀行事業	計		
経常収益(注2)						
(1) 外部顧客への経常収益	378,636	29,701	10,711	419,050	1,607	420,658
(2) セグメント間の内部経常 収益	775	0	67	843	—	843
計	379,412	29,702	10,778	419,893	1,607	421,501
セグメント利益	22,924	3,801	2,232	28,959	△185	28,773

(注1) 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれていない介護事業が含まれております。

(注2) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
報告セグメント計	19,223	28,959
「その他」の区分の損益	△272	△185
セグメント間取引の調整額	0	—
事業セグメントに配分していない損益(注)	43	51
四半期連結損益計算書の経常利益	18,995	28,825

(注) 主として持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、以下のとおり会社分割(簡易新設分割)により子会社を設立いたしました。

1. 目的

Fintech等の分野に強みを持つベンチャー企業への投資を行い、財務的なリターンの獲得に加え、ベンチャー企業と当社グループ各社との連携や協業により当社グループの既存事業を強化するとともに、新規事業の創出にも取り組んでまいります。

2. 子会社の概要

商号	ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社
本店所在地	東京都千代田区
事業内容	ベンチャーキャピタル業務、その他ベンチャーキャピタル業務に附帯または関連する一切の業務
資本金の額	10百万円
発行済株式総数	10,000株
設立年月日	2018年7月10日
株主構成	当社100%

当社の連結業績※は、日本の会計基準に準拠して作成しており、その会計基準は、当社の親会社であるソニー株式会社が開示する連結業績の準拠する米国の会計原則とは異なります。

※当社の連結業績に含まれる対象会社は以下のとおりです。

連結：ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

ソニー生命保険株式会社

ソニー損害保険株式会社

ソニー銀行株式会社

ソニーペイメントサービス株式会社

SmartLink Network Hong Kong Limited

ソニー・ライフケア株式会社

ライフケアデザイン株式会社

プラウドライフ株式会社*

持分法適用：ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社

SA Reinsurance Ltd.

* プラウドライフ株式会社は、2018年3月期第2四半期連結会計期間より、新たに連結範囲に含まれております。

注意事項

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限られません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみ全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、当社グループが将来の見通しや試算を見直して改訂するとは限りません。当社グループはそのような義務を負いません。また、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

2. 補足情報

補足情報（プレゼンテーション資料）の目次

2018年度第1四半期 連結業績およびソニー生命の2018年6月末MCEV

2018年度第1四半期 連結業績	3
2018年度 連結業績予想	25
ソニー生命の2018年6月末MCEVおよびESR	27
参考情報	30

【プレゼンテーション資料】

2018年度第1四半期 連結業績および ソニー生命の2018年6月末MCEV

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
2018年8月9日

Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

目次

■ 2018年度第1四半期 連結業績	P. 3
■ 2018年度 連結業績予想	P.25
■ ソニー生命の2018年6月末MCEVおよびESR	P.27
■ 参考情報	P.30

免責事項：

このプレゼンテーション資料に記載されている、ソニーフィナンシャルグループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーフィナンシャルグループの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、ソニーフィナンシャルグループが将来の見通しや試算を見直して改訂するとは限りません。ソニーフィナンシャルグループはそのような義務を負いません。また、このプレゼンテーション資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

※本資料掲載情報は、特に記載のない限り、数値は表示単位未満は切捨て、比率や増減率は四捨五入で表示。

また、増減率が1,000%を超える場合や比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合は「-」表示。

※「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標。

2018年度第1四半期 連結業績

Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

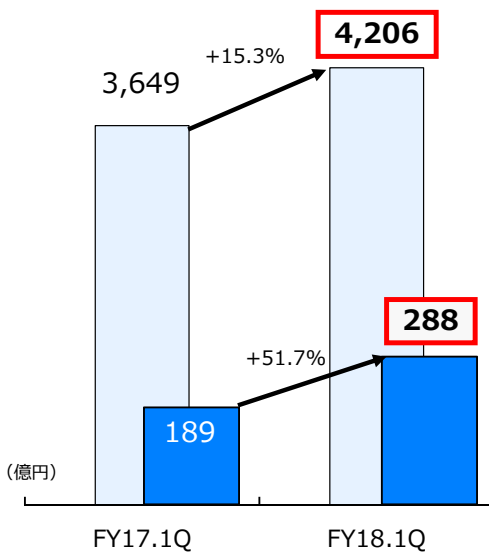
3

連結業績ハイライト ①



<グループ連結>

□ 経常収益 ■ 経常利益



		(億円)		FY17.1Q	FY18.1Q	前年同期比	
生命保険事業	経常収益			3,279	3,794	+514	+15.7%
	経常利益			151	229	+77	+51.4%
損害保険事業	経常収益			280	297	+16	+5.9%
	経常利益			23	38	+14	+60.0%
銀行事業	経常収益			97	107	+10	+10.8%
	経常利益			17	22	+5	+31.0%
その他*	経常収益			△7	7	+15	-
	経常利益			△2	△1	+0	-
グループ連結	経常収益			3,649	4,206	+556	+15.3%
	経常利益			189	288	+98	+51.7%
	親会社株主に 帰属する 四半期純利益			125	200	+75	+59.8%

* 主として持株会社（連結財務諸表提出会社）及び介護事業にかかる損益と内部取引調整。
FY17.2Qよりブラウドライブ（株）を含む。

(注) 包括利益：FY17.1Q・・・139億円、FY18.1Q・・・157億円

		(億円)		18.3末	18.6末	前年度末比	
グループ連結	純資産			6,254	6,150	△103	△1.7%
	総資産			124,014	127,720	+3,705	+3.0%

Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

4

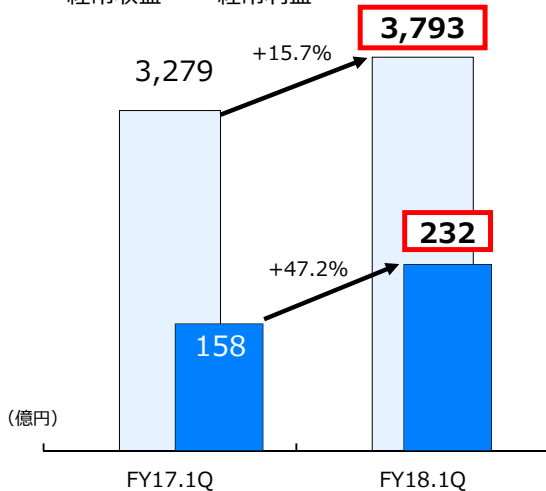
連結業績ハイライト ②

<前年同期比分析>

- 生命保険事業：経常収益は、保有契約高の堅調な推移などを受けた保険料等収入の増加により、前年同期に比べ増収。経常利益は、一般勘定における有価証券売却益の計上や保有契約の増加にともなう利益の増加により、前年同期に比べ増益。
- 損害保険事業：経常収益は、主力の自動車保険で正味収入保険料が増加したことにより、前年同期に比べ増収。経常利益は、事業費率や損害率の低下などにともない、前年同期に比べ増益。
- 銀行事業：有価証券利息の増加や、住宅ローン残高の積み上がりにより、貸出金利息の増加により、経常収益および経常利益は、前年同期に比べ増加。
- 連結業績：経常収益は、生命保険事業、損害保険事業および銀行事業のすべての事業において増加した結果、4,206億円（前年同期比15.3%増）。経常利益も、上記事業すべてにおいて増加した結果、288億円（前年同期比51.7%増）。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益が増加したことにより、200億円（前年同期比59.8%増）。

ソニー生命 業績ハイライト（単体）

□ 経常収益 ■ 経常利益



- ◆ 前年同期比 増収増益。
- ◆ 保険料等収入は、保有契約高の堅調な推移などにより、増加。
- ◆ 資産運用収益は、一般勘定における為替差益の増加などにより、増加。
- ◆ 経常利益は、一般勘定における有価証券売却益の計上や保有契約の増加にともなう利益の増加により、前年同期に比べ、増益。

	(億円)	FY17.1Q	FY18.1Q	前年同期比	
経常収益		3,279	3,793	+514	+15.7%
保険料等収入		2,411	2,695	+283	+11.8%
資産運用収益		831	1,069	+238	+28.7%
うち利息及び配当金等収入		388	404	+16	+4.1%
うち有価証券売却益		0	32	+32	—
うち為替差益		0	122	+122	—
うち特別勘定資産運用益		430	498	+68	+15.8%
経常費用		3,121	3,560	+439	+14.1%
保険金等支払金		967	1,008	+40	+4.2%
責任準備金等繰入額		1,655	2,020	+364	+22.0%
資産運用費用		89	93	+3	+4.5%
うち金融派生商品費用		70	78	+8	+12.0%
事業費		332	354	+22	+6.7%
経常利益		158	232	+74	+47.2%
四半期純利益		101	163	+62	+61.7%

	(億円)	18.3末	18.6末	前年度末比	
有価証券残高		87,659	89,829	+2,169	+2.5%
責任準備金残高		85,660	87,671	+2,010	+2.3%
純資産		4,927	4,793	△134	△2.7%
その他有価証券評価差額金		1,249	1,213	△35	△2.8%
総資産		95,676	98,026	+2,349	+2.5%
特別勘定資産		11,288	11,957	+669	+5.9%

ソニー生命 主要業績指標 (単体)

(億円)	FY17.1Q	FY18.1Q	前年同期比
新契約高	11,158	16,747	+50.1%
解約・失効高	4,515	8,964	+98.5%
解約・失効率	1.00%	1.90%	+0.90pt
新契約年換算保険料	161	187	+15.7%
うち第三分野	31	33	+8.4%

<主な増減要因>

◆ 家族収入保険の販売が好調であったことにより、増加。

◆ 標準生命表改定にともない料率改定を行った家族収入保険などの加入に際し、一部のお客さまが既契約を解約されたことにより、増加。

◆ 米ドル建保険、個人年金保険の販売が好調であったことにより、増加。

(億円)	FY17.1Q	FY18.1Q	前年同期比
資産運用損益 (一般勘定)	311	477	+53.7%
基礎利益	249	267	+7.4%
順ざや額	45	42	△6.7%

◆ 保有契約の増加により、増加。

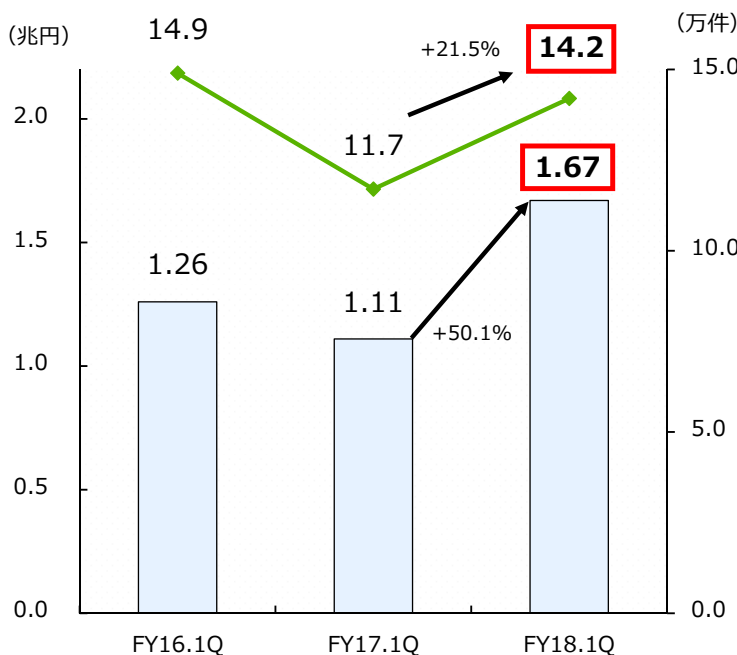
(億円)	18.3末	18.6末	前年度末比
保有契約高	472,534	478,708	+1.3%
保有契約年換算保険料	8,488	8,563	+0.9%
うち第三分野	1,918	1,935	+0.9%
単体 ソルベンシー・マージン比率	2,624.3%	2,648.6%	+24.3pt

(注) 新契約高、解約・失効高、解約・失効率、新契約年換算保険料、保有契約高、保有契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計。解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率。

ソニー生命の業績 (単体) ①

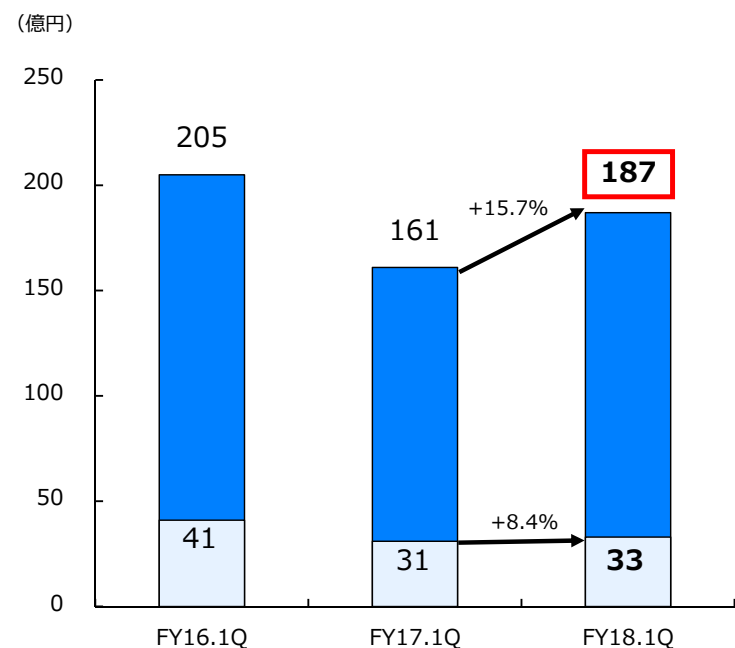
新契約高・件数 (個人保険+個人年金保険)

□ 新契約高 — 新契約件数



新契約年換算保険料 (個人保険+個人年金保険)

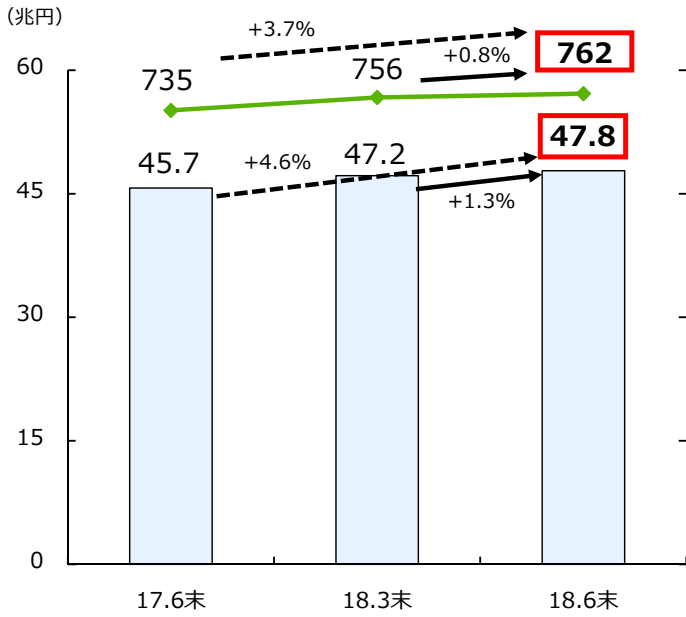
■ 新契約年換算保険料 □ うち、第三分野



ソニー生命の業績（単体） ②

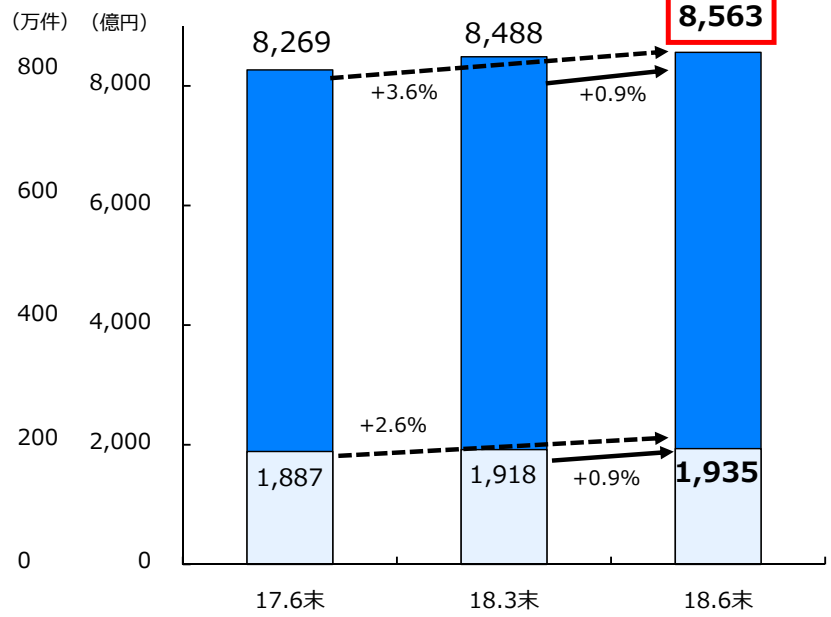
保有契約高・件数（個人保険+個人年金保険）

□ 保有契約高 — 保有契約件数



保有契約年換算保険料（個人保険+個人年金保険）

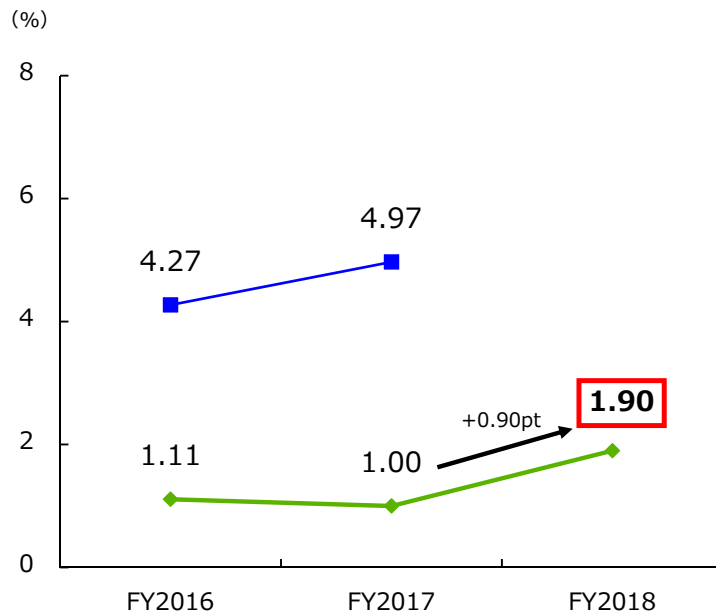
■ 保有契約年換算保険料 □ うち、第三分野



ソニー生命の業績（単体） ③

解約・失効率*（個人保険+個人年金保険）

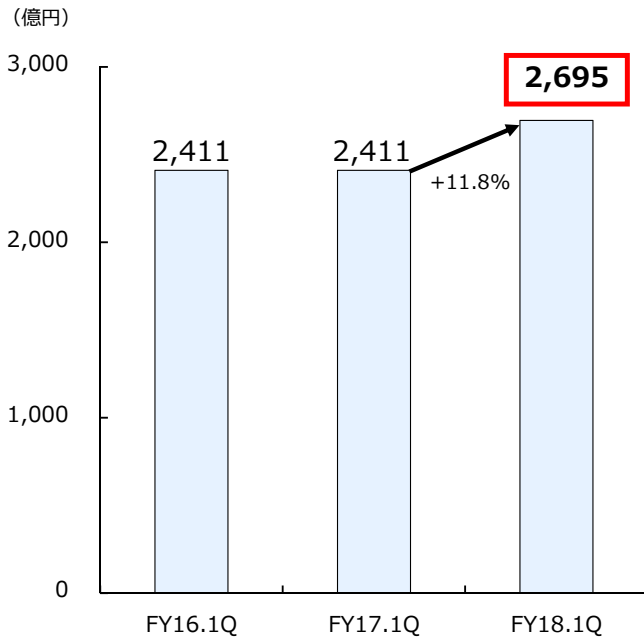
■ 解約・失効率（通期） ◆ 解約・失効率（1Q）



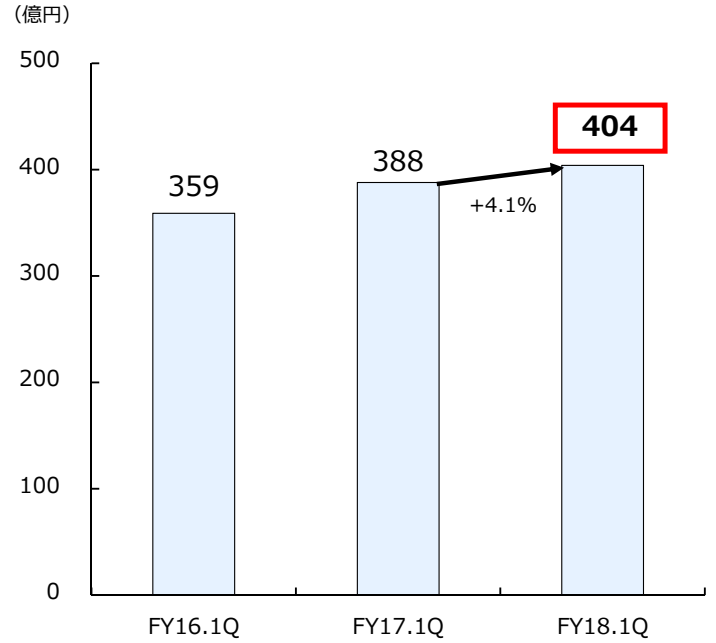
* 解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率。

ソニー生命の業績（単体）④

保険料等収入

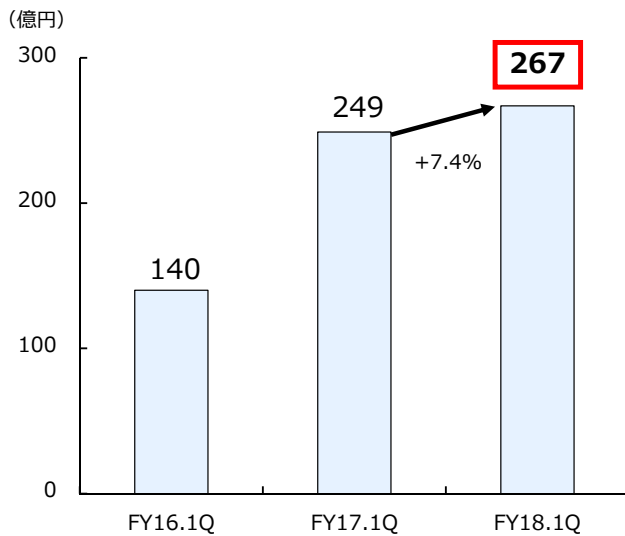


利息及び配当金等収入



ソニー生命の業績（単体）⑤

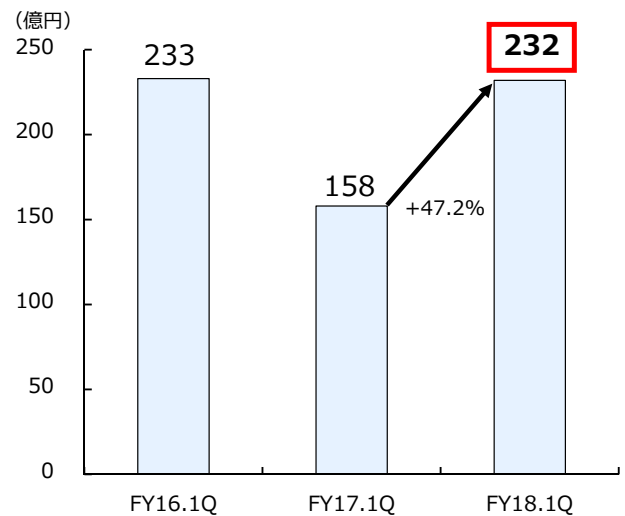
基礎利益



(ご参考) 基礎利益へのインパクト

	(億円)	FY16.1Q	FY17.1Q	FY18.1Q
順ざや額		32	45	42
変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額(△)(注)		△89	△1	△8
その他		197	206	233

経常利益



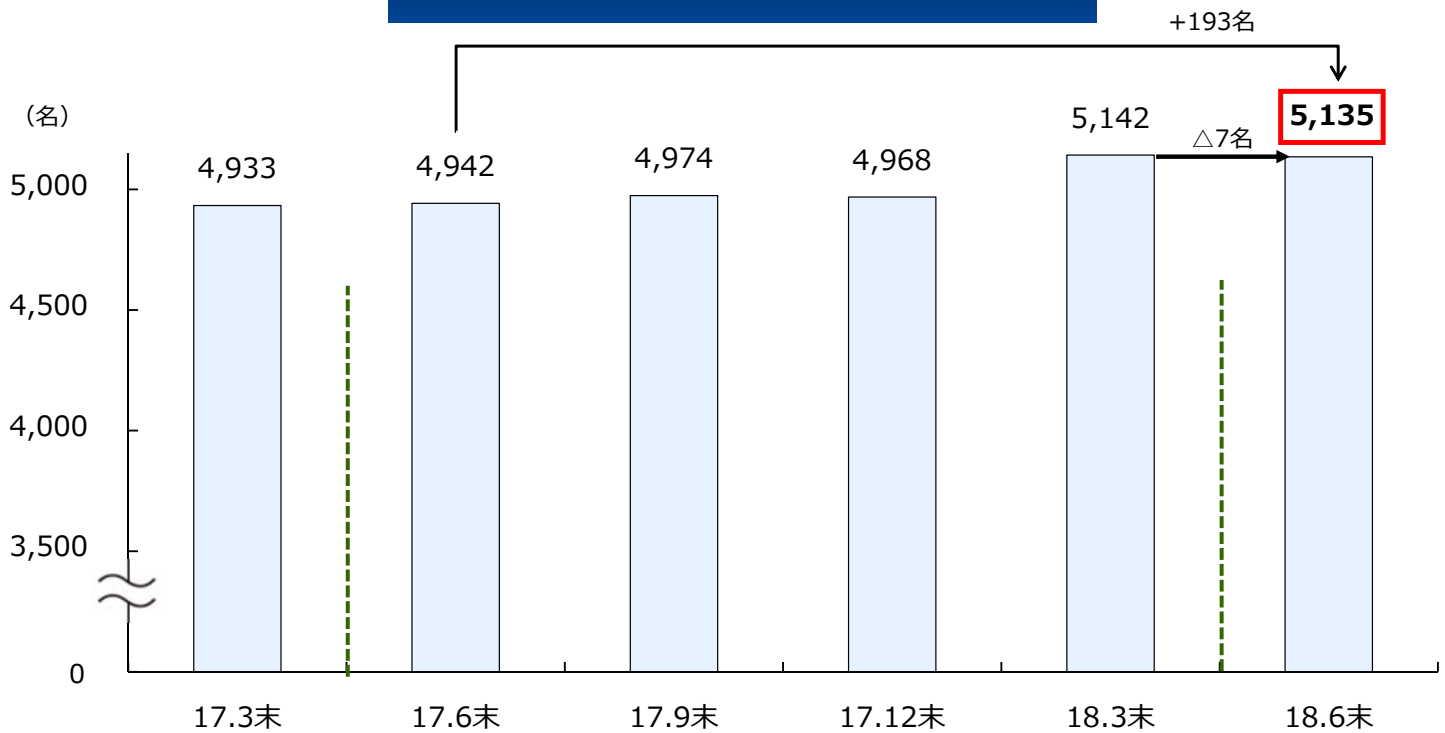
(ご参考) 基礎利益からの主な差異

	(億円)	FY16.1Q	FY17.1Q	FY18.1Q
キャピタル損益(ヘッジ損益除く)(注)		61	△30	26
変額保険に係るヘッジ損益		49	△42	△39
危険準備金繰入額(△)(注)		△17	△17	△21

(注) 変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額、危険準備金繰入額のマイナスは繰入額。キャピタル損益は、変額保険に係るヘッジ損益を除く。

ソニー生命の業績（単体）⑥

ライフプランナー在籍数



ソニー生命の業績（単体）⑦

一般勘定資産の内訳

(億円)	18.3末		18.6末	
	金額	割合	金額	割合
公社債	72,811	86.3%	73,839	85.8%
株式	384	0.5%	346	0.4%
外国公社債	3,665	4.3%	4,231	4.9%
外国株式等	303	0.4%	281	0.3%
金銭の信託	2,705	3.2%	2,684	3.1%
約款貸付	1,894	2.2%	1,908	2.2%
不動産 (注)	923	1.1%	919	1.1%
現預金・コールローン	408	0.5%	498	0.6%
その他	1,291	1.5%	1,358	1.6%
合計	84,388	100.0%	86,069	100.0%

(注) 「不動産」については、土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上。

<資産運用状況>

金利リスクの低減を目的として、保険契約の持つ長期の負債特性に合わせて超長期債の購入を継続



〔債券のDuration〕

2017. 3末 21.3 年

2018. 3末 21.4 年

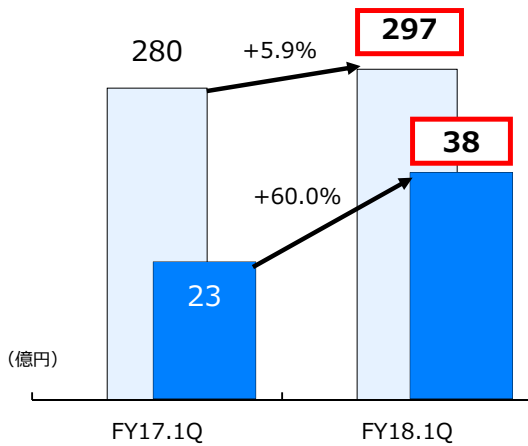
2018. 6末 21.4 年

- 「金銭の信託」は主に公社債を中心に運用
- 一般勘定資産における公社債（金銭の信託で運用されているものを含む）の実質的な構成比

2018.6末・・・88.9%
(2018.3末・・・89.5%)

ソニー損保 業績ハイライト

□ 経常収益 ■ 経常利益



- ◆ 前年同期比 増収増益。
- ◆ 経常収益は、主力の自動車保険で正味収入保険料が増加したことにより、増収。
- ◆ 経常利益は、事業費率や損害率の低下などにとともに、増益。

(億円)	FY17.1Q	FY18.1Q	前年同期比	
経常収益	280	297	+16	+5.9%
保険引受収益	275	290	+14	+5.4%
資産運用収益	4	6	+1	+37.2%
経常費用	256	259	+2	+0.9%
保険引受費用	190	193	+3	+1.6%
営業費及び一般管理費	66	65	△0	△1.1%
経常利益	23	38	+14	+60.0%
四半期純利益	16	27	+10	+61.4%

(億円)	18.3末	18.6末	前年度末比	
責任準備金残高	1,170	1,208	+37	+3.2%
純資産	331	331	△0	△0.1%
総資産	2,043	2,055	+11	+0.6%

ソニー損保 主要業績指標

(億円)	FY17.1Q	FY18.1Q	前年同期比	
元受正味保険料	272	288	+16	+5.7%
正味収入保険料	275	290	+15	+5.4%
正味支払保険金	121	130	+9	+7.4%
保険引受利益	19	31	+12	+65.9%
正味損害率	50.8%	51.8%	+1.0pt	
正味事業費率	25.9%	24.3%	△1.6pt	
コンバインド・レシオ	76.7%	76.1%	△0.6pt	

<主な増減要因>

◆ 主力の自動車保険の契約獲得が順調に推移。

◆ システム関連費用が減少したことなどにより、低下。

(注) 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料
正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

	FY17.1Q	FY18.1Q	前年同期比	
E.I 損害率	58.6%	56.9%	△1.7pt	
E.I 損害率+正味事業費率	84.5%	81.2%	△3.3pt	

◆ 保険金単価の低下(支払備金繰入額を含む)などにより、低下。

(注) E.I.損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料
[除く地震保険、自賠責保険]

	18.3末	18.6末	前年度末比	
保有契約件数	207万件	210万件	+3万件	+1.5%
単体ソルベンシー・マージン比率	782.1%	828.4%	+46.3pt	

(注) 保有契約件数は、自動車保険と医療保険の合算値。

ソニー損保 種目別保険引受の状況

元受正味保険料

(百万円)	FY17.1Q	FY18.1Q	増減率
火災	52	54	+4.2%
海上	-	-	-
傷害	2,178	2,163	△0.7%
自動車	25,029	26,583	+6.2%
自賠責	-	-	-
合計	27,260	28,802	+5.7%

正味収入保険料

(百万円)	FY17.1Q	FY18.1Q	増減率
火災	4	4	+16.5%
海上	△0	-	-
傷害	2,229	2,221	△0.4%
自動車	24,969	26,524	+6.2%
自賠責	352	300	△14.8%
合計	27,556	29,051	+5.4%

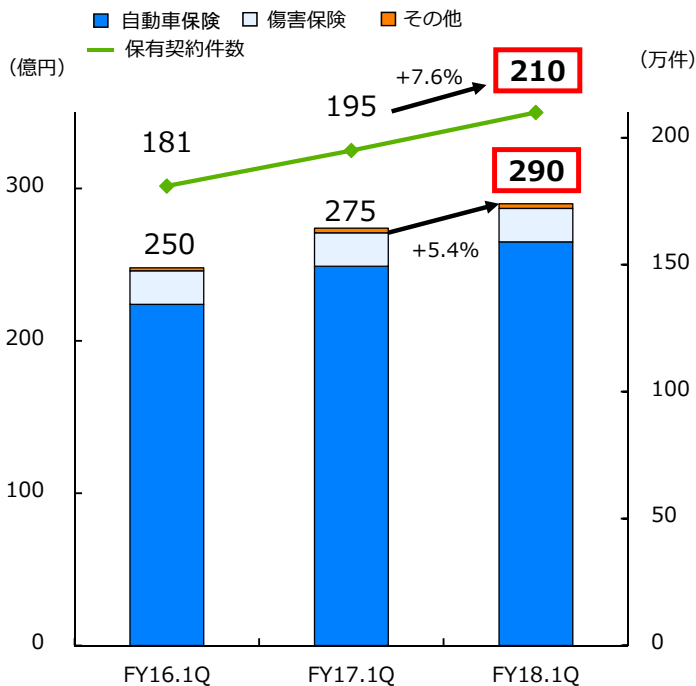
正味支払保険金

(百万円)	FY17.1Q	FY18.1Q	増減率
火災	0	1	+62.7%
海上	2	1	△26.8%
傷害	645	691	+7.1%
自動車	11,219	12,052	+7.4%
自賠責	311	329	+5.5%
合計	12,180	13,076	+7.4%

(注) 「傷害」には医療保険を含む。

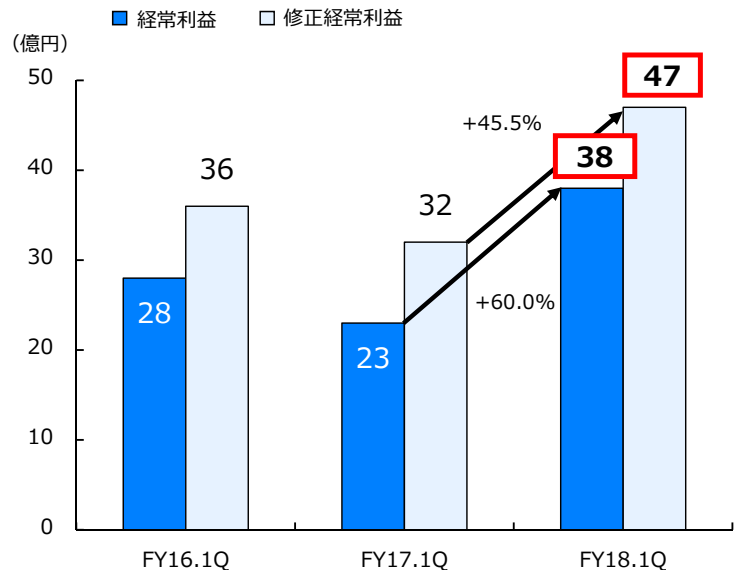
ソニー損保の業績 ①

正味収入保険料と保有契約件数



(注) 保有契約件数は、自動車保険と医療保険の合算値。
また、傷害保険の正味収入保険料の大部分が医療保険。

経常利益と修正経常利益



※修正経常利益 = 経常利益 + 異常危険準備金繰入額

(ご参考) 異常危険準備金繰入状況

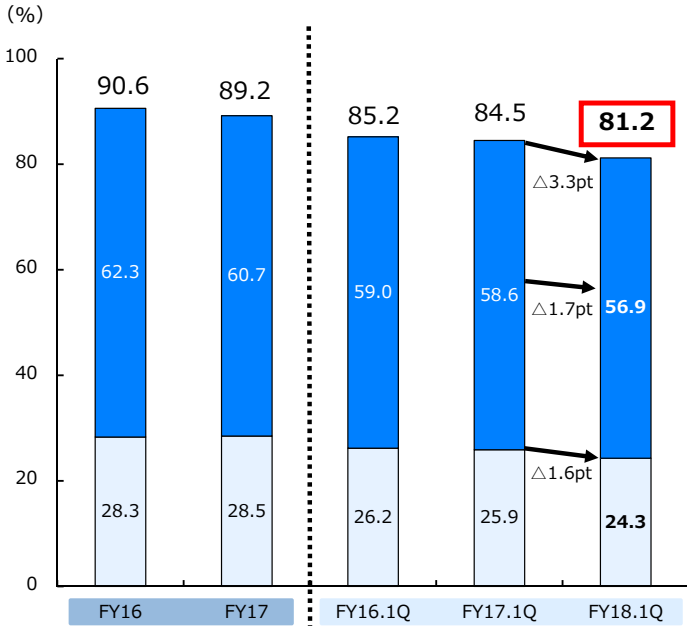
(億円)	FY16.1Q	FY17.1Q	FY18.1Q
異常危険準備金繰入額	7	8	9

(注) 異常危険準備金繰入額のプラスは繰入額。

ソニー損保の業績 ②

E.I.損害率 + 正味事業費率

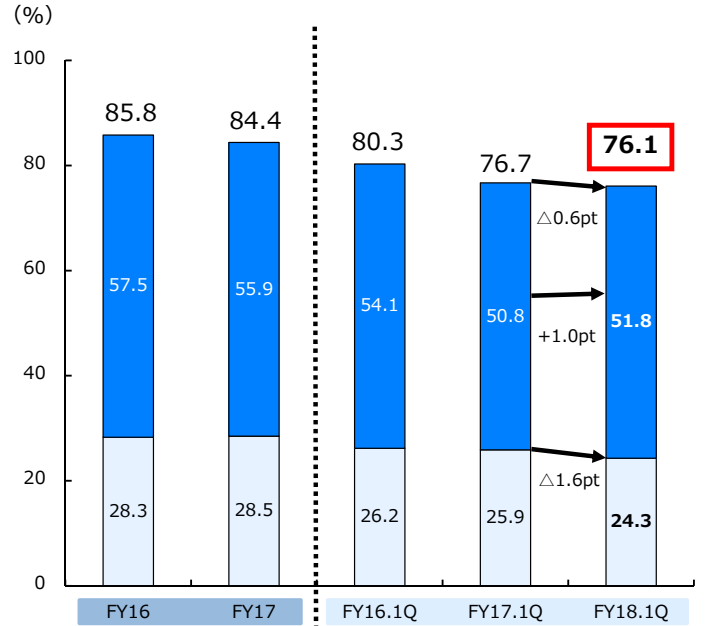
■ E.I.損害率 □ 正味事業費率



年度比較 四半期比較
 (注) E.I.損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料 [除く地震保険、自賠責保険]
 正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

<参考> コンバインド・レシオ (正味損害率 + 正味事業費率)

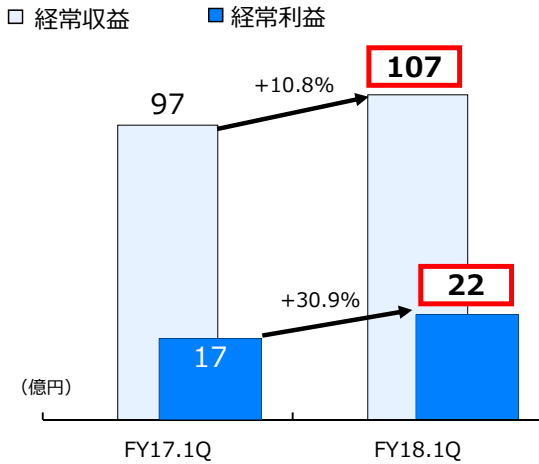
■ 正味損害率 □ 正味事業費率



年度比較 四半期比較
 (注) 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料
 正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

ソニー銀行 業績ハイライト (連結・単体)

<連結>



<連結>

(億円)	FY17.1Q	FY18.1Q	前年同期比	
経常収益	97	107	+10	+10.8%
経常利益	17	22	+5	+30.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11	14	+3	+30.7%

<銀行単体>

(億円)	FY17.1Q	FY18.1Q	前年同期比	
経常収益	88	97	+8	+9.9%
業務粗利益	53	57	+4	+7.6%
資金運用収支	49	55	+6	+13.6%
役務取引等収支	△7	△8	△1	-
その他業務収支	11	10	△1	△12.2%
営業経費	38	37	△0	△2.0%
業務純益	15	19	+4	+27.5%
経常利益	15	20	+4	+30.9%
四半期純利益	10	14	+3	+31.2%

(億円)	18.3末	18.6末	前年度末比	
純資産	857	842	△14	△1.7%
その他有価証券評価差額金	60	54	△6	△10.1%
総資産	26,350	27,618	+1,268	+4.8%

<連結>
 ◆ 経常収益および経常利益は、有価証券利息の増加や、住宅ローン残高の積み上がりにもなる貸出金利息の増加により、増加。

<銀行単体>
 ◆ 業務粗利益・業務純益ともに増加。
 ・ 資金運用収支は増加。有価証券利息や貸出金利息の増加による。
 ・ 役務取引等収支は減少。住宅ローンにかかる費用の増加などによる。
 ・ その他業務収支は減少。債券売却益が減少したことによる。

ソニー銀行 主要業績指標 (単体) ①

(億円)	17.6末	18.3末	18.6末	前年度末比	
預かり資産残高	22,630	23,430	23,895	+464	+2.0%
預金	21,478	22,193	22,650	+457	+2.1%
円預金	17,943	18,147	18,636	+488	+2.7%
外貨預金	3,535	4,046	4,014	△31	△0.8%
投資信託	1,151	1,237	1,244	+6	+0.6%
貸出金残高	15,520	15,963	16,201	+237	+1.5%
住宅ローン	14,670	15,255	15,517	+261	+1.7%
カードローン	185	188	185	△3	△1.8%
その他	664	518	498^{*1}	△20	△4.0%
自己資本比率^{*2} (国内基準)	9.37%	10.45%	10.42%	△0.03pt	

<主な増減要因>

◆ 口座数増加にともなう新規資金の獲得や、円安進行にともなう外貨預金の円転の影響などにより、増加。

◆ 円安局面で、外貨普通預金が円転され円預金にシフトしたことにより、減少。

◆ 住宅ローンの着実な積み上げにより、増加。

*1 うち498億円は法人向け

*2 P.24の自己資本比率(国内基準)の推移ご参照

ソニー銀行 主要業績指標 (単体) ②

<参考> 社内管理ベース

(億円)	FY17.1Q	FY18.1Q	前年同期比	
業務粗利益	53	57	+4	+7.6%
資金収支 ^{*1} ①	55	62	+6	+11.8%
手数料等収支 ^{*2} ②	△6	△7	△1	—
その他収支 ^{*3}	4	2	△1	△28.9%
コアベース業務粗利益(A) =①+②	49	54	+5	+10.7%
営業経費等 ③	38	38	△0	△0.3%
コアベース業務純益 =(A)-③	10	16	+5	+49.3%

■ 社内管理ベース

損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの

*1 資金収支 …… 資金運用収支+その他業務収支に計上されている
実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)

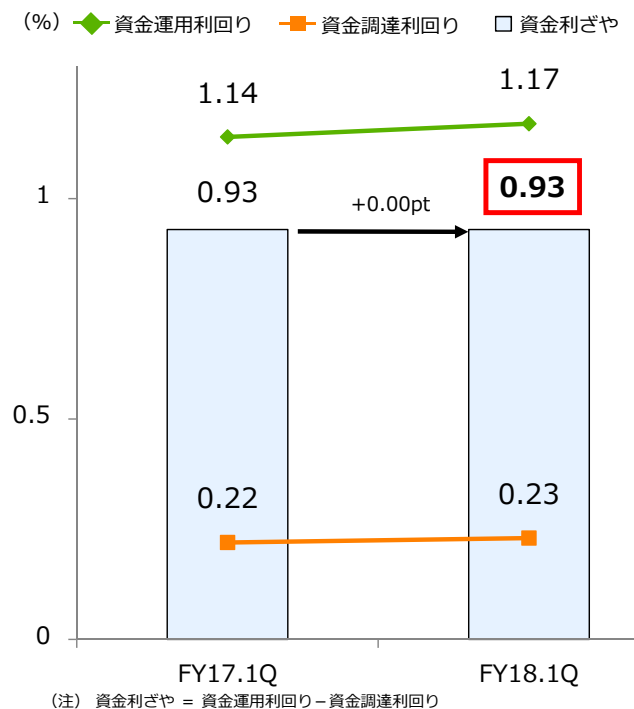
*2 手数料等収支 … 役員取引等収支+その他業務収支に計上されている
お客さまとの外貨売買取引にかかる収益

*3 その他収支 …… その他業務収支から *1 と *2 の調整分を控除したもの
(主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益)

■ コアベース

社内管理ベースの その他収支(主な内容は債券関係損益およびデリバティブ
関連損益)を除いたもので、ソニー銀行の基礎的な利益を表すもの

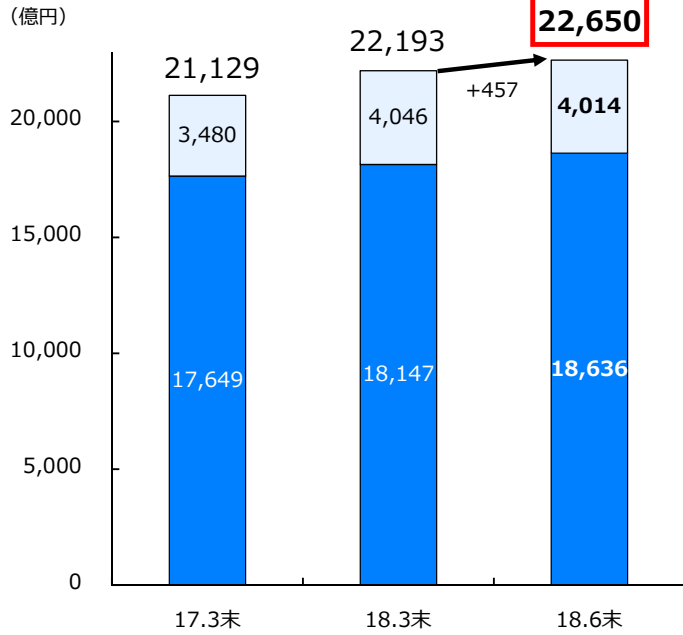
<参考> 資金利ざや(社内管理ベース)の推移



ソニー銀行の業績（単体） ①

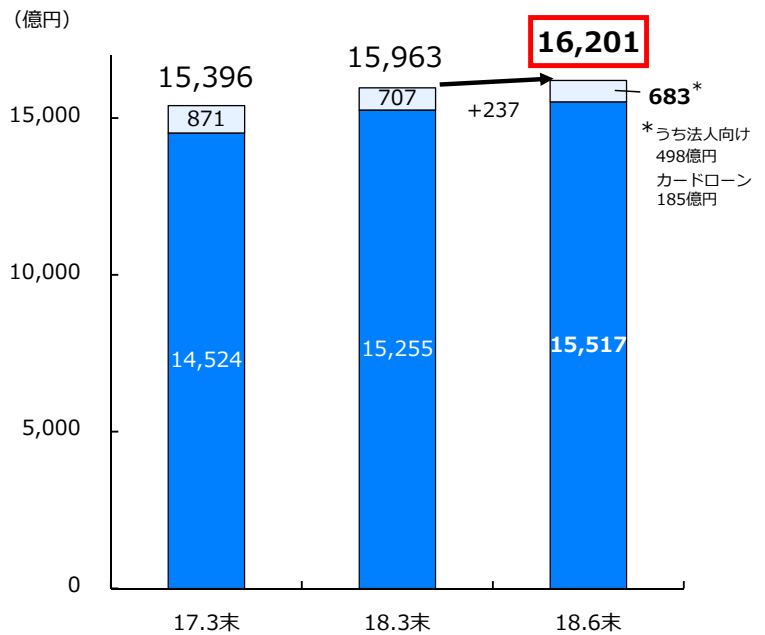
預金残高

■ 円預金 □ 外貨預金



貸出金残高

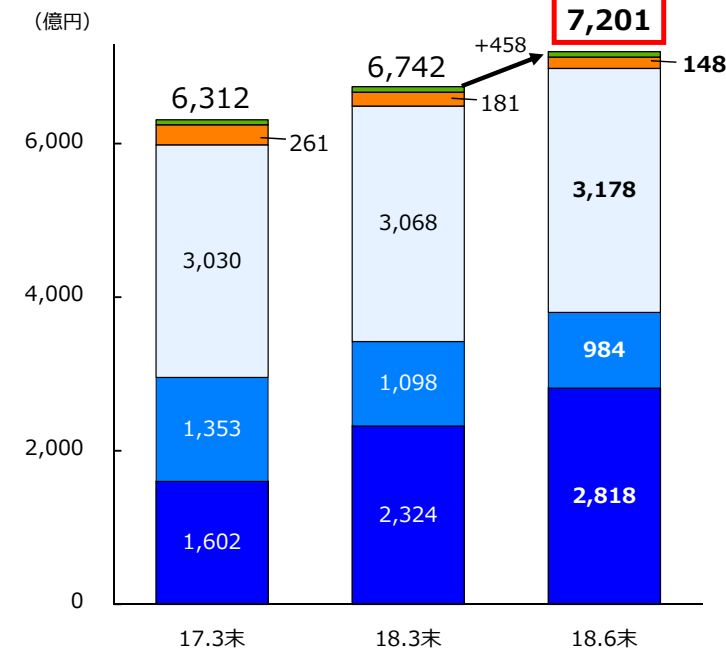
■ 住宅ローン □ その他



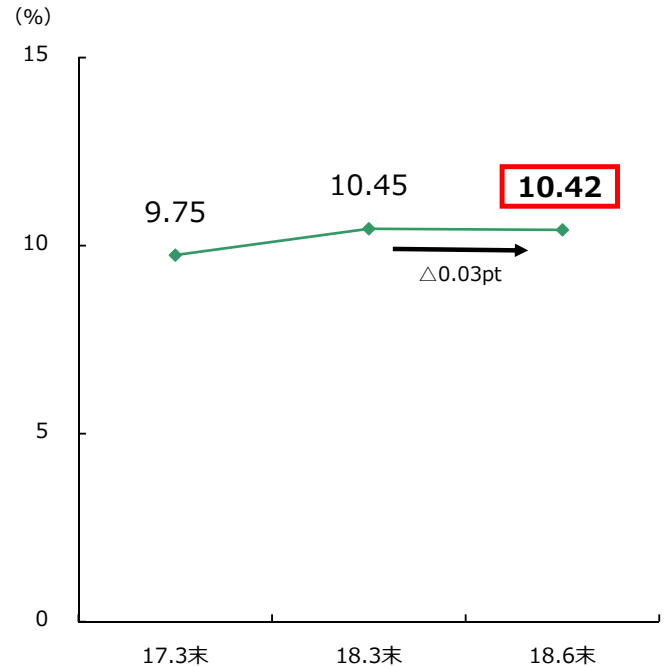
ソニー銀行の業績（単体） ②

格付別の有価証券残高の推移

■ AAA ■ AA □ A
■ BBB ■ その他



自己資本比率（国内基準）の推移



(注) 平成18年(2006年)金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出。

2018年度連結業績予想

2018年度連結業績予想

連結業績予想については2018年4月27日に公表した数値から変更なし

(億円)	FY2017 (通期実績)	FY2018 (通期予想)	前年度比	FY18.1Q (3M実績)	進捗率
経常収益	15,036	15,780	+4.9%	4,206	26.7%
うち生命保険事業	13,512	14,161	+4.8%	3,794	26.8%
うち損害保険事業	1,100	1,123	+2.0%	297	26.4%
うち銀行事業	399	428	+7.2%	107	25.2%
経常利益	668	830	+24.2%	288	34.7%
うち生命保険事業	541	709	+30.9%	229	32.3%
うち損害保険事業	65	65	△1.1%	38	58.5%
うち銀行事業	71	70	△2.0%	22	31.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	518	550	+6.0%	200	36.5%

<各事業の経常収益・経常利益>

■生命保険事業

FY18.1Q(3M)の経常収益および経常利益は、期初の想定を上回ったものの、通期見通しについては、FY18.2Q以降の事業環境などを勘案し、据え置く。

■損害保険事業

FY18.1Q(3M)の経常収益および経常利益は、期初の想定を上回ったものの、通期見通しについては、FY18.2Q以降の自然災害の影響を含む業績全般の動向を見極める必要があるため、据え置く。

■銀行事業

FY18.1Q(3M)の経常収益および経常利益は、期初の想定を上回ったものの、通期見通しについては、FY18.2Q以降の事業環境などを勘案し、据え置く。

ソニー生命の2018年6月末MCEV およびESR

2018年6月末の数値については、一部簡易な計算を実施しております。
計算の妥当性については第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。

※当パートにおいては、数値、比率ともに表示単位未満は四捨五入で表示。

ソニー生命のMCEV

(億円)	18.3末	18.6末	増減 対18.3末
MCEV	16,332	15,935	△397
修正純資産	17,861	18,043	+182
保有契約価値	△1,529	△2,108	△579

(億円)	FY17.4Q (3M)	FY18.1Q (3M)
新契約価値	212	219
新契約マージン	6.1%	7.1%

◆ MCEV増減要因

- ・ 円金利の低下などにより、前年度末に比べ397億円減少。

◆ 新契約価値および新契約マージン

- ・ FY18.1Q(3M)の新契約価値は、着実な新契約獲得により、219億円。
- ・ 新契約マージンは、保険リスク計測手法等の見直しなどにより、FY17.4Q(3M)に比べ1.0ポイント上昇。

(注) 2018年6月末のMCEVの計算は、2018年3月末の前提条件から、主に経済前提と解約・失効率をアップデート。

(注) 新契約価値および新契約マージンは、各月の新契約を各月末の経済前提で評価し、2018年3月末に実施した保険リスク計測手法等の見直しを2018年度より反映。なお、保険リスクの計測手法等の見直しについては、「2017年度連結業績およびソニー生命の2018年3月末MCEV【速報】」などをご参照ください。

※国債レートやイールドカーブについては、P.41-44参照。

ソニー生命のESR

(億円)	18.3末	18.6末	増減 対18.3末
保険リスク	4,975	5,068	+93
市場関連リスク	3,806	3,796	△10
うち金利リスク	2,753	2,704	△50
オペレーショナルリスク	310	321	+11
カウンターパーティリスク	26	26	+0
分散効果	△1,820	△1,831	△11
経済価値ベースのリスク量	7,297	7,380	+83

(億円)	18.3末	18.6末	増減 対18.3末
MCEV+フリクショナル・コスト	16,558	16,192	△366
ESR	227%	219%	△8pt

- ◆ 経済価値ベースのリスク量は、保有契約の増加にともなう保険リスクの増加などにより、前年度末に比べ83億円増加し、7,380億円。
- ◆ ESRは、経済価値ベースのリスク量の増加およびMCEVの減少により、前年度末に比べ8ポイント低下し219%。

(注) 経済価値ベースのリスク量とは、ソニー生命が保有する各種リスク（保険リスク、市場関連リスクなど）を、市場整合的な方法で総合的に評価したリスク総量。

(注) 経済価値ベースのリスク量の測定においては、1年VaR99.5%水準とし、内部モデルを採用。

(注) 金利リスクは、市場関連リスク内での分散効果考慮前のリスク量。

(注) ESRは「(MCEV+フリクショナル・コスト) / 経済価値ベースのリスク量」。

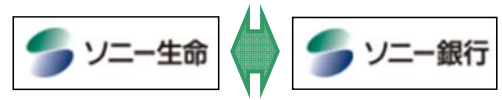
参考情報

その他トピックス

◆ ソニー銀行における、ソニー生命による住宅ローン取扱い状況

FY18.1Q(3M)の住宅ローン新規融資実行金額の13%
2018年6月末の住宅ローン残高の18%

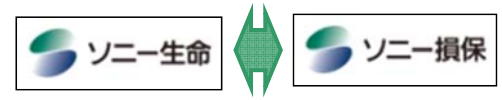
※銀行代理業務取扱い開始：2008年1月



◆ ソニー損保における、ソニー生命による自動車保険取扱い状況

FY18.1Q(3M)の新規自動車保険契約件数の5%

※自動車保険取扱い開始：2001年5月



◆ 2018年度第1四半期以降の主な取組み

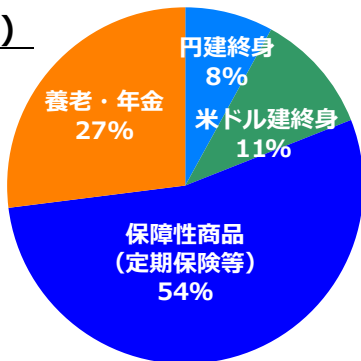
2018年5月10日	銀行	AI（人工知能）を活用した住宅ローン仮審査の自動化開始
2018年5月31日	ソニーペイメントサービス	タクシー会社7社とソニー株式会社とともに新会社「みんなのタクシー株式会社」（準備会社）を設立
2018年6月21日	損保	【新商品】インターネット専用の海外旅行保険販売開始
2018年7月2日	生保	【新商品】『メディカル・ベネフィット（総合医療保険（無解約返戻金型）18 無配当）』、『メディカル・ベネフィット リターン（健康還付給付金特則付総合医療保険（無解約返戻金型）18 無配当）』の発売
2018年7月10日	その他	投資子会社「ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社」設立

ソニー生命の商品構成

商品種類別新契約年換算保険料

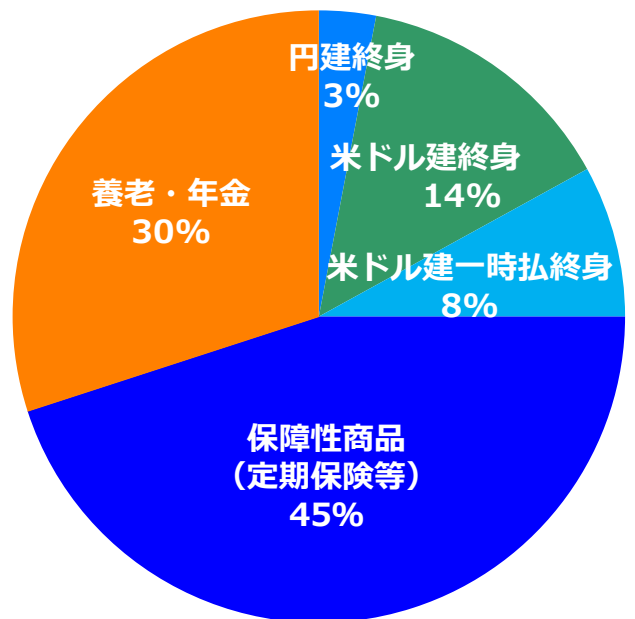
FY17.1Q (3M)

161億円



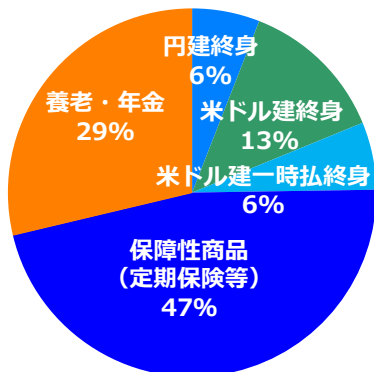
FY18.1Q (3M)

187億円



FY17 (通期)

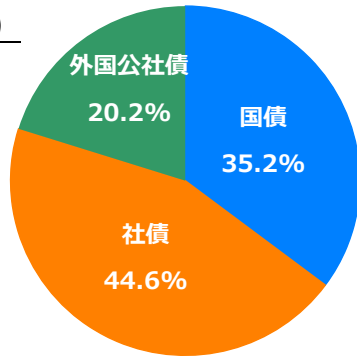
730億円



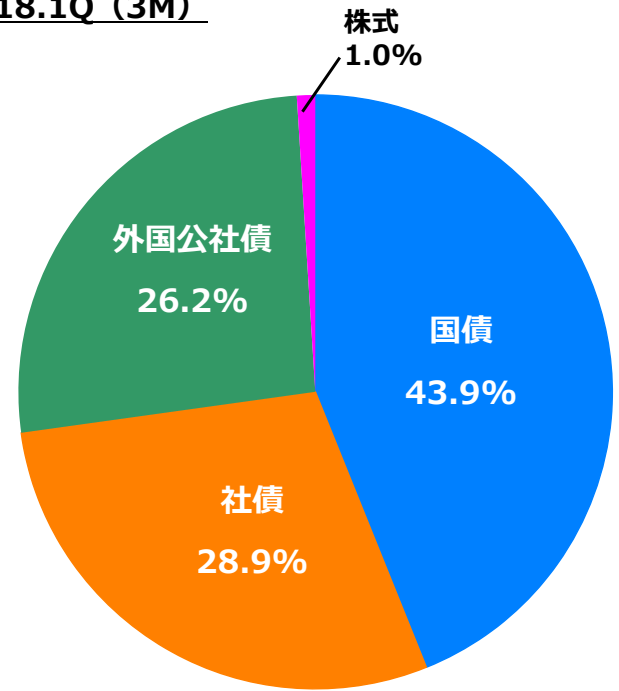
ソニー生命の資産運用

一般勘定資産における有価証券の購入

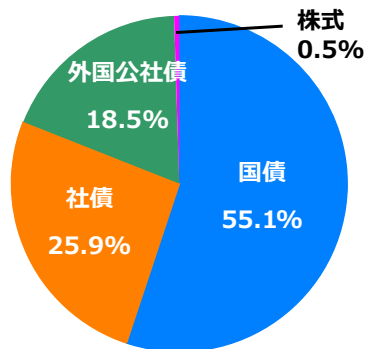
FY17.1Q (3M)



FY18.1Q (3M)



FY17 (通期)



(注1) 社債には、財投機関債、政府保証債を含む。

(注2) 上記の表は対象期間の購入金額を100%とした資産配分（子関連出資・政策投資を除く）。

Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

33

ソニー生命の保有する有価証券（一般勘定）

有価証券の時価情報

売買目的有価証券以外の有価証券のうち、時価のあるもの

(億円)

区 分	17.3末			18.3末			18.6末		
	帳簿価額	時価	差損益	帳簿価額	時価	差損益	帳簿価額	時価	差損益
満期保有目的の債券	60,686	75,142	14,455	64,679	80,506	15,826	65,655	81,862	16,206
責任準備金対応債券	2,773	3,033	259	4,019	4,368	348	4,460	4,839	379
その他有価証券	8,965	10,699	1,733	9,219	10,911	1,691	9,367	11,008	1,641
公社債	8,526	10,133	1,607	8,470	10,021	1,550	8,525	10,053	1,528
株式	136	270	133	136	306	169	114	254	140
外国証券	300	291	△8	610	581	△29	725	697	△28
その他の証券	1	3	1	1	2	1	1	2	1
合計	72,425	88,875	16,449	77,919	95,786	17,867	79,482	97,710	18,227

(注) 本表には、金銭の信託のうち売買目的有価証券以外のものを含む。

売買目的有価証券の評価損益

(億円)

17.3末		18.3末		18.6末	
BS計上額	PL評価損益	BS計上額	PL評価損益	BS計上額	PL評価損益
20	△1	-	△0	14	△0

Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

34

ソニー生命の利配収入内訳

(百万円)

	FY17.1Q	FY18.1Q	前年同期比
公社債	30,865	32,010	+3.7%
株式	66	100	+51.4%
外国証券	3,434	4,053	+18.0%
その他の証券	7	277	—
貸付	1,627	1,685	+3.5%
不動産	2,719	2,151	△20.9%
その他	96	139	+44.4%
合計	38,817	40,419	+4.1%

ソニー生命のキャピタル損益内訳

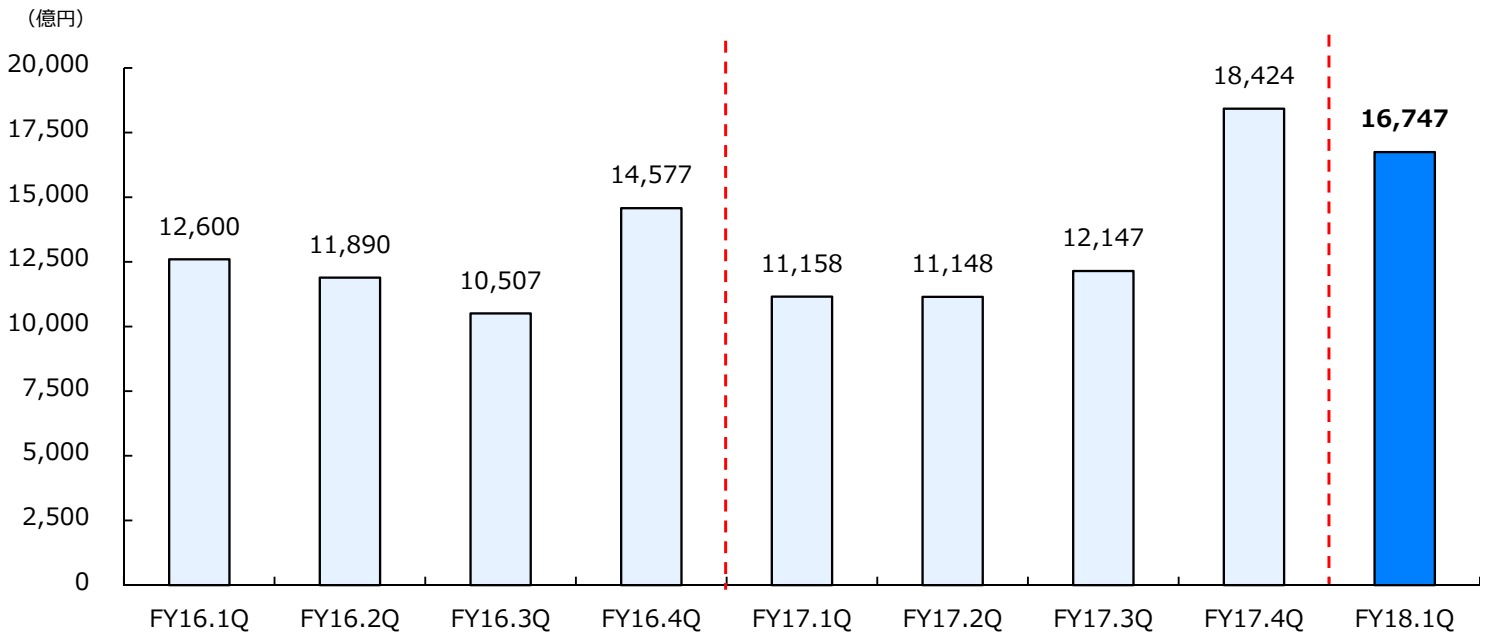
(百万円)	FY17.1Q	FY18.1Q	(百万円)	FY17.1Q	FY18.1Q
キャピタル費用	7,441	16,850	キャピタル収益	124	15,552
売買目的有価証券運用損	—	42	売買目的有価証券運用益	11	—
有価証券売却損…(3)	—	34	有価証券売却益…(3)	0	3,265
金融派生商品費用	7,015	7,855	金融派生商品収益	—	—
うち変額保険に係るヘッジ損…(1)	4,247	3,901	為替差益	49	12,287
うちその他有価証券に係るヘッジ損…(2)	1,713	874	うち米ドル建保険関係の為替差益…(4)	△242	12,203
うち米ドル建保険関係の為替差損…(4)	515	2,974	その他キャピタル収益	63	—
為替差損	—	—	うち米ドル建保険関係の 為替変動に係る責任準備金等戻入額…(4)	63	—
その他キャピタル費用	426	8,917	キャピタル損益	△7,316	△1,297
うち米ドル建保険関係の 為替変動に係る責任準備金等繰入額…(4)	—	8,917			

(注) 売買目的有価証券運用益(損)、金融派生商品収益(費用)、為替差益(差損)は、それぞれ相殺後の金額を計上。

(百万円)	FY17.1Q	FY18.1Q
(1)変額保険に係るヘッジ損益	△4,247	△3,901
(2)その他有価証券に係るヘッジ損益	△1,713	△874
(3)有価証券売却損益	0	3,230
(4)米ドル建保険関係損益	△694	311

ソニー生命の新契約高の四半期推移

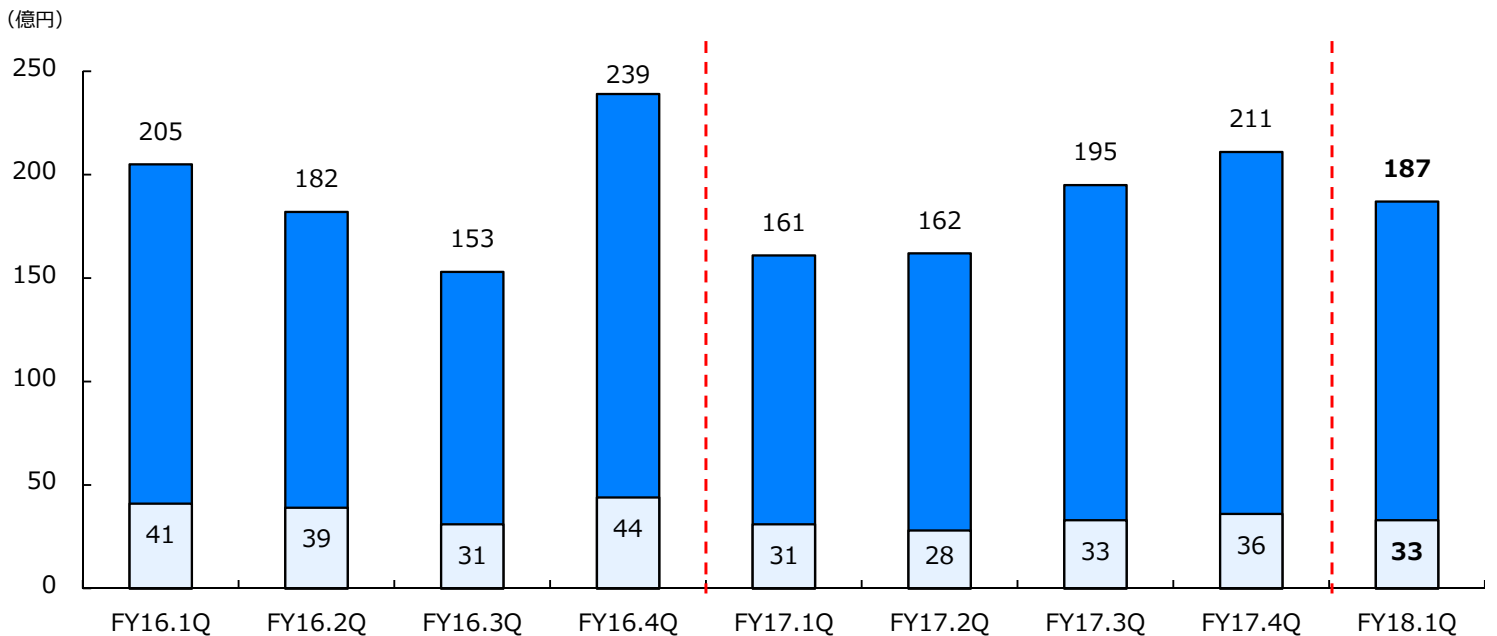
新契約高の四半期（3カ月）ごとの推移



ソニー生命の新契約年換算保険料の四半期推移

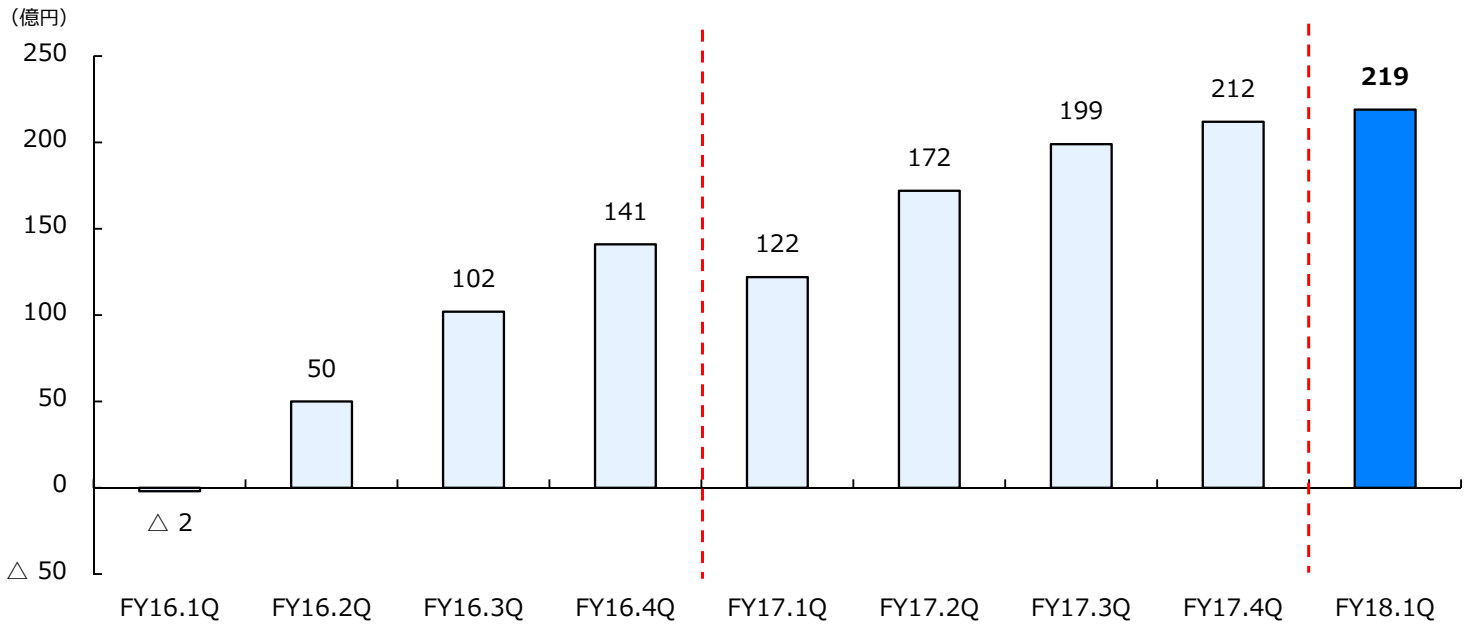
新契約年換算保険料の四半期（3カ月）ごとの推移

■ 新契約年換算保険料 □ うち、第三分野



ソニー生命の新契約価値の四半期推移

新契約価値の四半期（3カ月）ごとの推移

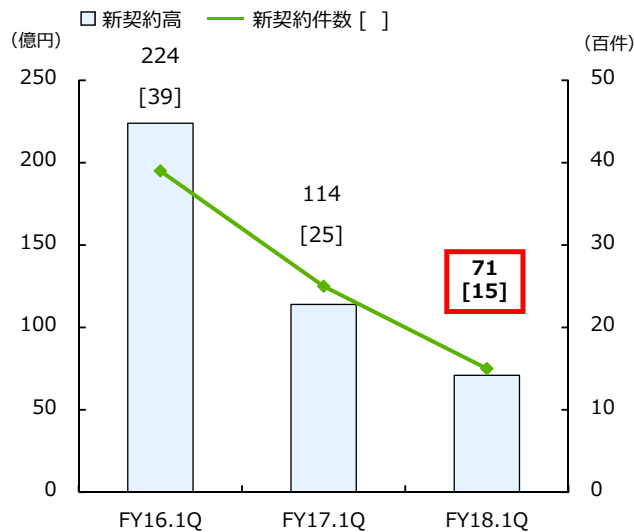


(注) 新契約価値は、各月の新契約を各月末の経済前提で評価。2018年3月末に実施した保険リスク計測手法等の見直しを2018年度より反映。

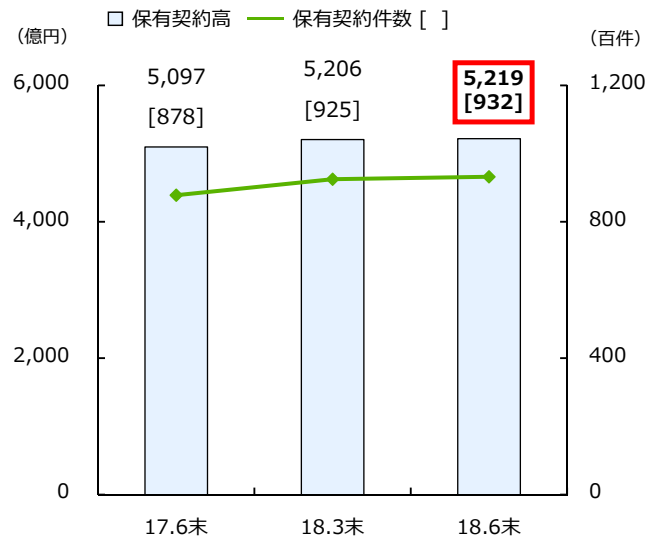
年金事業の業績

(ソニーライフ・エイゴン生命の新契約高及び保有契約高)

新契約高・件数



保有契約高・件数

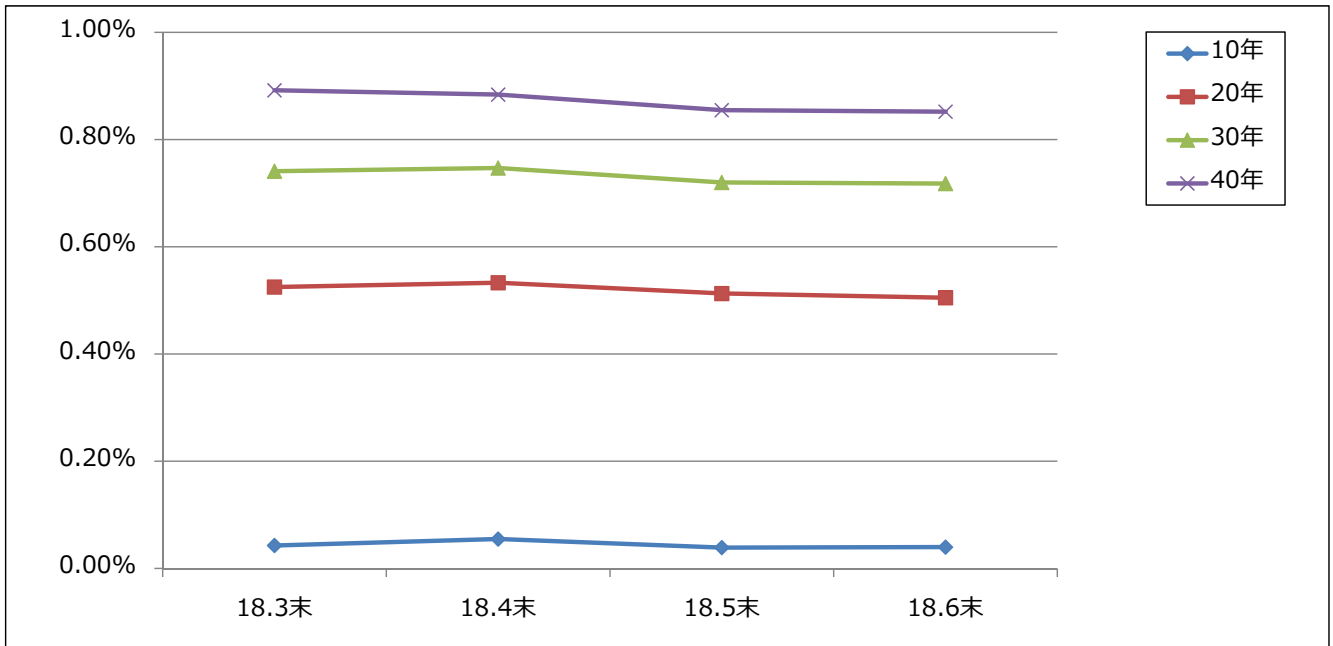


ソニーライフ・エイゴン生命およびSA Reinsuranceの四半期純利益 (△損失)

(億円)	FY17.1Q	FY18.1Q	前年同期差
ソニーライフ・エイゴン生命	△10	△8	+1
SA Reinsurance	△3	3	+6

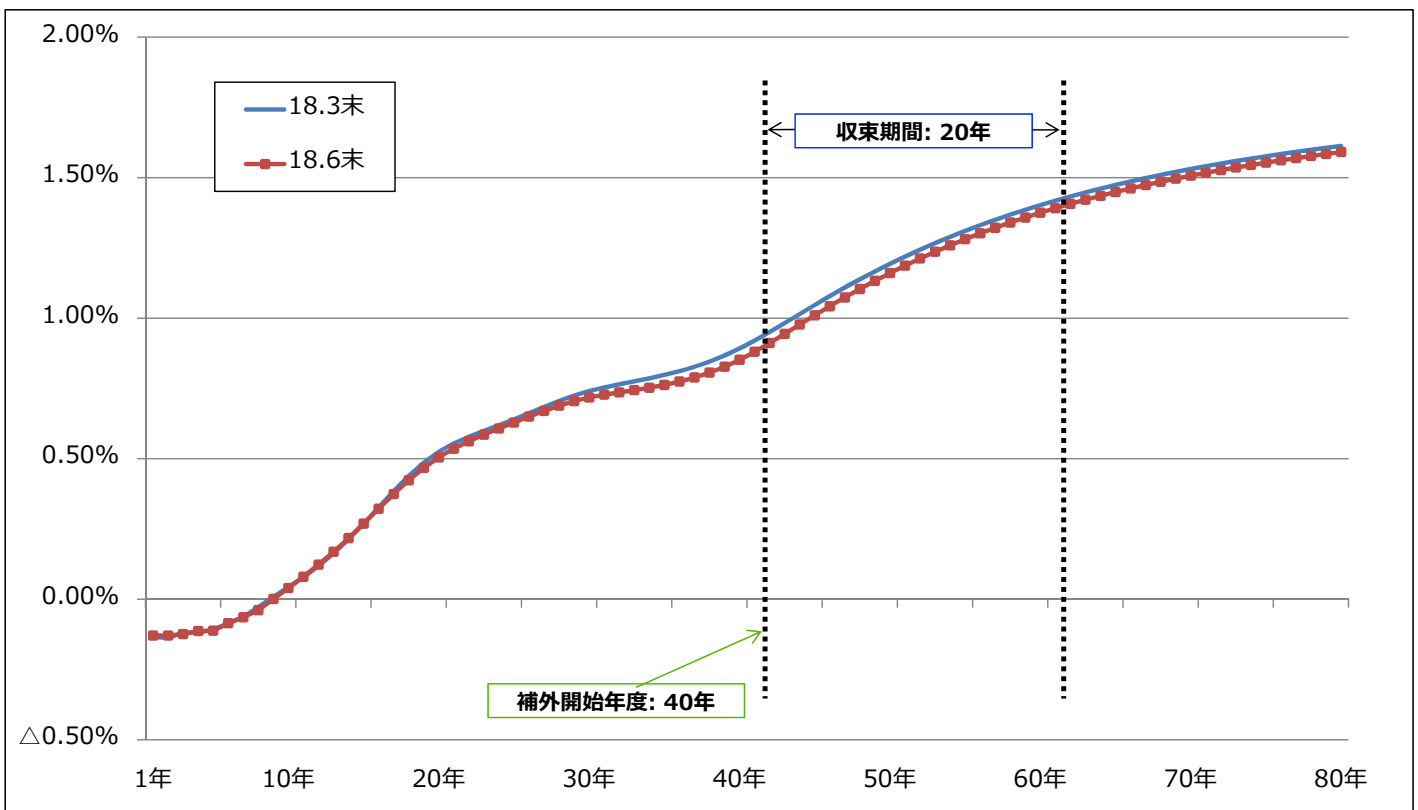
(注) ソニーライフ・エイゴン生命とSA Reinsuranceは、ソニー生命とエイゴン・インターナショナルの折半出資 (50:50) による合弁会社であり、SFHの持分法適用関連会社。SA Reinsuranceの業績数値は、米国会計原則に準拠。SFHの親会社株主に帰属する四半期純利益には上記の金額に対する持分相当 (50%) を反映。

日本国債レートの推移（パーレート）



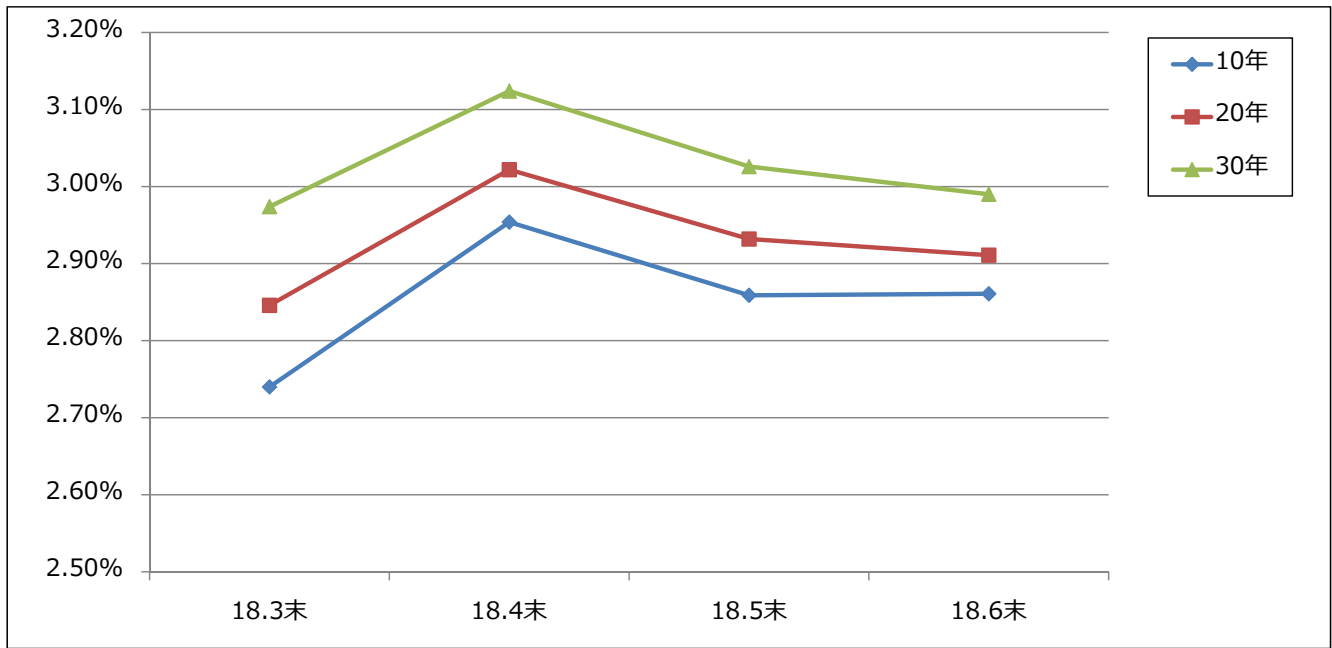
	18.3末	18.4末	18.5末	18.6末
10年	0.04%	0.06%	0.04%	0.04%
20年	0.53%	0.53%	0.51%	0.51%
30年	0.74%	0.75%	0.72%	0.72%
40年	0.89%	0.88%	0.86%	0.85%

リスクフリーレートの推移（日本円/パーレート換算）



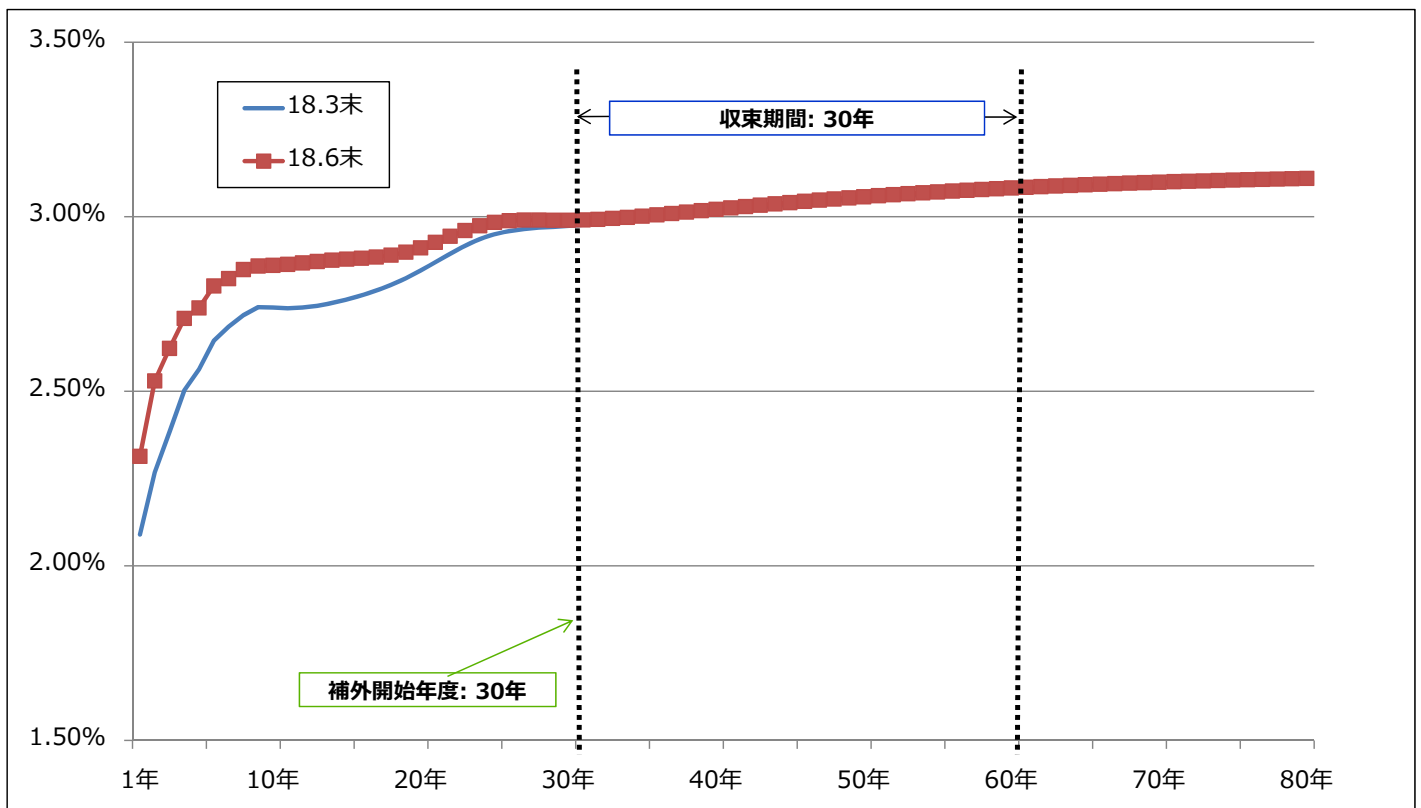
* 上記のリスクフリーレートは、60年目のフォワードレートが終局金利（3.5%）に収束するように、Smith-Wilson法により補外。

米国債レートの推移（パーレート）



	18.3末	18.4末	18.5末	18.6末
10年	2.74%	2.95%	2.86%	2.86%
20年	2.85%	3.02%	2.93%	2.91%
30年	2.97%	3.12%	3.03%	2.99%

リスクフリーレートの推移（米ドル/パーレート換算）



* 上記のリスクフリーレートは、60年目のフォワードレートが終局金利（3.5%）に収束するように、Smith-Wilson法により補外。

連結修正ROEの内訳

	FY2017 (12M)	FY17.1Q (3M)	FY18.1Q (3M)
連結修正ROE	6.1%	1.3%	1.7%
(ソニー生命) コアROEV *	5.9%	1.1%	1.6%
(ソニー損保) 修正ROE	16.1%	5.5%	7.0%
(ソニー銀行) ROE	5.5%	1.4%	1.7%

* FY2017およびFY17.1Qは、ソニー生命における保険リスクの計測手法などの見直しの影響を含まない。

連結修正利益および連結修正資本の内訳

修正利益 (分子)

ソニーフィナンシャル グループ (連結)	(億円)	FY2017	FY17.1Q	FY18.1Q
修正利益(連結)		988	199	303

ソニー生命 (単体)	(億円)	FY2017	FY17.1Q	FY18.1Q
新契約価値 *1		704	122	219
保有契約価値からの貢献 *1		163	42	35
修正利益		867	164	255

ソニー損保	(億円)	FY2017	FY17.1Q	FY18.1Q
当期 (四半期) 純利益		48	16	27
異常危険準備金繰入額 (税後)		24	6	6
価格変動準備金繰入額 (税後)		0	0	0
修正利益		73	23	33

ソニー銀行 (連結)	(億円)	FY2017	FY17.1Q	FY18.1Q
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益		47	11	14

修正資本 (分母)

ソニーフィナンシャル グループ (連結)	(億円)	FY2017	FY17.1Q	FY18.1Q
修正資本 (連結)		16,076	15,730	17,358

ソニー生命 (単体)	(億円)	FY2017	FY17.1Q	FY18.1Q
①前年度末MCEV		14,410	14,410	16,331
②配当額		231	231	262
③当年度(当四半期)末MCEV *2*3		15,365	14,782	15,934
修正資本 (①-②+③)÷2		14,772	14,480	16,002

ソニー損保	(億円)	FY2017	FY17.1Q	FY18.1Q
①純資産の部の期中平均額		331	292	331
②異常危険準備金 (税後) の期中平均額		150	132	157
③価格変動準備金 (税後) の期中平均額		1	1	1
修正資本 (①+②+③)		452	423	487

ソニー銀行 (連結)	(億円)	FY2017	FY17.1Q	FY18.1Q
修正資本 (純資産の部の期中平均額)		851	826	869

*1: FY17.1QおよびFY18.1Qは、計算の妥当性について第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。

*2: 計算の妥当性について第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。

*3: FY2017およびFY17.1Qは、ソニー生命における保険リスクの計測手法などの見直しの影響を含みません。

(注) 本ページに記載している数値は、全て表示単位未満を切捨てて表示しています。そのため他のパートで表示している数値と一部異なることがあります。

連結修正ROEの算式

保険事業や銀行事業などグループ各社の業態が異なるため、各事業ごとに、修正利益および修正資本に基づく「修正ROE」を算出し、企業価値や資本効率の的確な把握に努める。グループ各社の修正ROEの算式は以下のとおり。

ソニーフィナンシャルグループ *			
	ソニー生命 コアROEV	ソニー損保 修正ROE	ソニー銀行 ROE
分子 (修正利益)	新契約価値 + 保有契約価値からの貢献 ①	+ 当期純利益 + 異常危険準備金繰入額(税後) + 価格変動準備金繰入額(税後) ②	+ 親会社株主に帰属する 当期純利益 ③
分母 (修正資本)	(前年度末MCEV - 配当額 + 当年度末MCEV) ÷ 2 ④	+ 以下の期中平均値 (純資産の部 + 異常危険準備金(税後) + 価格変動準備金(税後)) ⑤	+ 純資産の部の期中平均値 ⑥

* グループの連結修正ROE = 連結修正利益 ÷ 連結修正資本
 連結修正利益 = ① + ② + ③
 連結修正資本 = ④ + ⑤ + ⑥



お問い合わせ先：

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社 IR部
 TEL：03-5290-6500（代表）